

先週のマーケット動向(3月10日~3月14日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,448.0	1,461.5	1,445.2	1,453.8	+7.0
JPY/KRW	9.8079	9.9501	9.7726	9.7823	▲0.021
KOSPI	2,555.40	2,600.07	2,505.91	2,566.36	+2.88

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は下落。週初のドル/ウォンは1,448.0ウォンでオープン。尹大統領の弾劾裁判の結果が来週にも判明するとの見方による警戒感や、中国政府が対米報復関税として米国産穀物などに最大15%の追加関税の発動を決定したことにより、ウォン安が進んだ。また、トランプ大統領が景気後退について問われ否定しなかったことで、米景気不安によるリスクオフムードが強まり、11日に一時1,460ウォンを超えるウォン安が進んだ。週央から週末にかけても関税を巡る報道に一進一退となるも、米CPIが予想比下振れたことや、関税を巡る楽観的な見方などもあり、若干ウォンは買い戻され、前週末比+7.0ウォンの1,453.8ウォンでクローズした。(韓国時間15:30)

今週の見通し

先週末にかけてリスクオフムードは一服の兆しも見えるものの、米関税やウクライナ情勢を巡っては依然として不透明感は強い。また、今週には尹大統領の弾劾裁判の結果が判明するとの見方も強く、韓国国内政治を巡る不確実性も高まっている。週初のドル/ウォンは下値を探る展開となろうが、大幅なウォン買いとはなりづらいだろう。各種ヘッドラインを見極める中で、週央・週末にかけて再度ドル/ウォンは反発し軟調な推移を想定する。19日の日銀会合・FOMCでは共に政策金利の据え置きが予想されるも、それぞれ今後の政策金利の見通しについてヒントを探る展開か。これら中銀イベントにも注意したい。

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1440 ~ 1470	9.60 ~ 9.90	147.0 ~ 150.0

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



今後の予定

- 17日(月) 米 2月 小売売上高
米 3月 NY連銀製造業指数
- 18日(火) 米 2月 鉱工業生産
米 2月 住宅着工件数
- 19日(水) 日 1月 鉱工業指数 確報値
欧 2月 CPI 確報値
日 1月 機械受注
日 2月 貿易統計
米 FOMC 政策金利発表
- 20日(木) 米 3月 失業保険新規申請者数
米 2月 中古住宅販売件数
- 21日(金) 日 2月 CPI

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。